

議会だより だいせん

60号

2020年4月30日発行
鳥取県大山町議会

新年度予算の特色… 2

13人が一般質問 …………… 17

議員と語る会 中止 …………… 31

卒所式(中山みどりの森保育園)

3月
定例会

www.daisen.jp/gikai/

大山町議会

検索



令和
2年度
予算

住んでよかった 誇れる町に

3月定例会を3月2日から23日までの22日間の会期で開催しました。

本会議では、令和元年度補正予算12議案、令和2年度予算に関する15議案、条例に関する22議案、ほか4議案を可決、陳情は2件を採択し1件を不採択としました。(関連11ページ)

令和2年度当初予算では、持続可能な町の施策として環境整備や情報整備などをはじめ、子育て支援や高齢者福祉の予算が計上されました。

定例会初日には、新型コロナウイルスに関する緊急質問がされ(関連11ページ)、一般質問は13人が行いました。

令和2年度 当初予算の主な事業



中山清掃センターを解体

アスベスト濃度に対応した方法で行う
2億4629万円



起業支援を促進

既存施設をリノベーションして創業
する者に対して支援する

1000万円



下市駅南側を整備

南側からの乗降口を整備し、
自転車置き場も設置する

736万円



大山寺旧境内の災害復旧

文化庁の指導で工事範囲の
拡大による増額

208万円



YouTube配信がスタート

大山チャンネルの放送番組を30分
ほどに再編集し公開配信する

174万円



社会福祉協議会の補助金再開

人件費や福祉バスなどの補助金を
再開する

2830万円



中山中学校の大規模改修

老朽化している外壁、防水、照明
設備を改善する

9960万円

令和元年度 補正予算の主な事業

新年度予算の内訳は

令和2年度一般会計の当初予算は、総額108億8000万円で、前年度と比べて9億2000万円(9.2%)の増となっています。

歳入について

町税は、固定資産税の4255万円の増が主な要因となって、合計1639万円の増を見込んでいます。

地方交付税は、合併算定替えの措置がなくなることから普通交付税は1000万円の減を見込んでいますが、特別交付税を近年の実績から2000万円の増と見込み、合計1000万円の増を見込んでいます。

借金である町債は、道路改良事業の増を主な要因として、9570万円の増を見込んでいます。

歳出について

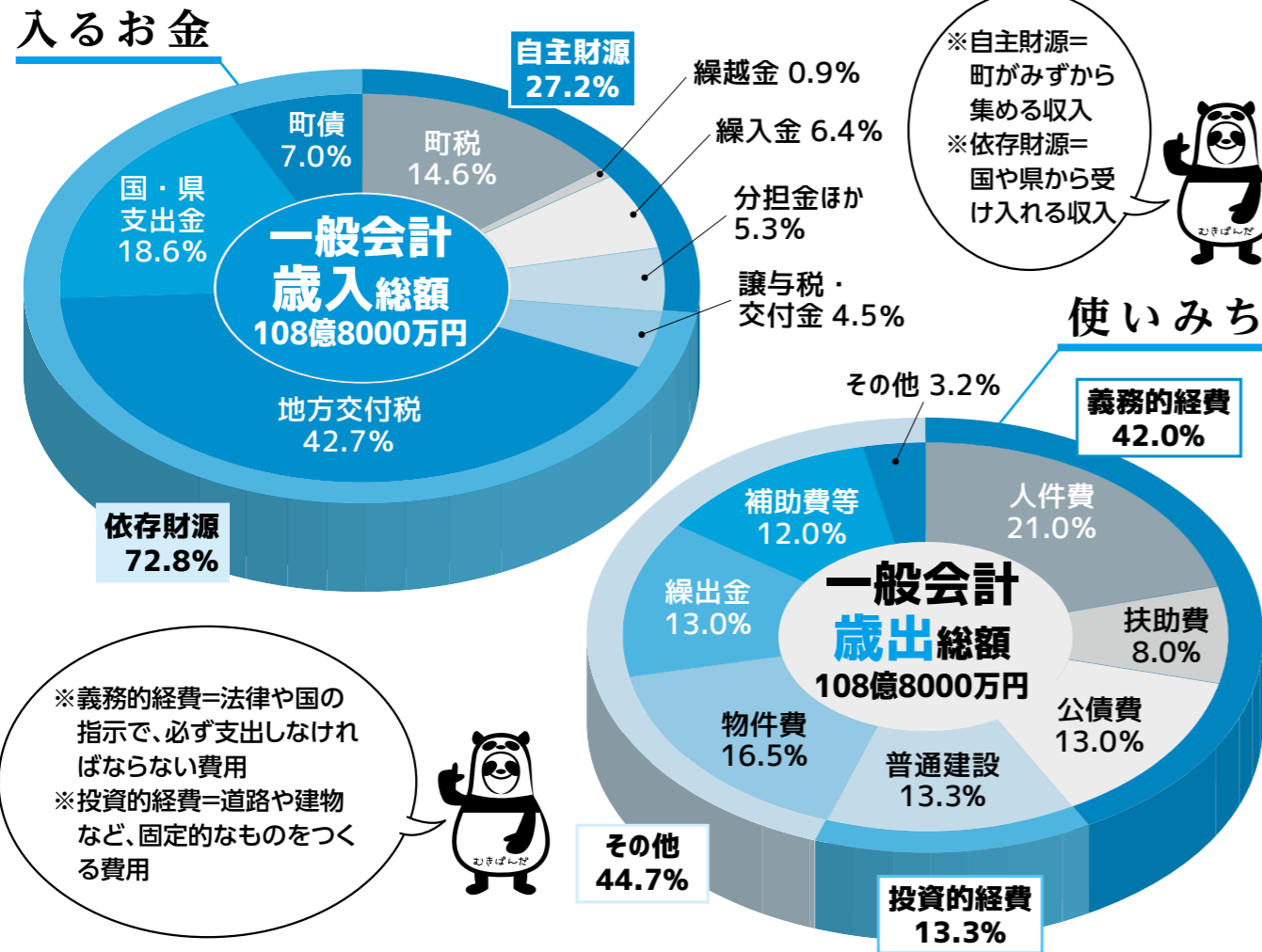
義務的経費は、これまで物件費で計上されていた臨時・嘱託職員などの人件費が「会計年度任用職員制度」の開始により人件費で計上されることになり、人件費が大幅増となっています。

扶助費はプレミアム商品券事業完了を主な要因として減となっています。

投資的経費は、道路改良事業のほか、中山清掃センター解体、畜産酪農収益力強化整備特別事業(国・県補助事業:「畜産クラスター事業」)などの大型事業により、7億8800万円の大幅増となっています。

○一般会計 内訳(金額・説明)

項目	令和2年度	令和元年度	比較増減	説明		
歳入	自主財源	町税	15億8873万円	15億7234万円	1639万円	町民税などみなさんが直接町に納められるお金
		分担金ほか	5億7961万円	5億3782万円	4179万円	分担金・使用料及び手数料・財産収入・寄付金
		繰越金	1億円	2億円	△1億円	前年度からの繰越金
		繰入金	6億9184万円	3億9651万円	2億9533万円	特別会計や基金から繰り入れるお金
	依存財源	譲与税・交付金	4億9191万円	4億1358万円	7833万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
		地方交付税	46億4000万円	46億3000万円	1000万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
		国・県支出金	20億2481万円	15億4235万円	4億8246万円	国や県が使用目的を特定して交付するお金
		町債(借金)	7億6310万円	6億6740万円	9570万円	町が事業を行うために借り入れるお金
		合計	108億8000万円	99億6000万円	9億2000万円	
		合計	108億8000万円	99億6000万円	9億2000万円	
歳出	義務的経費	人件費	22億8189万円	16億4978万円	6億3211万円	職員の給料や議員報酬などに使うお金
		扶助費	8億7409万円	8億8212万円	△803万円	医療費・児童手当などに使うお金
		公債費(借金返済)	14億933万円	14億105万円	828万円	町の借金を返済するためのお金
		投資的経費(普通建設事業)	14億4302万円	6億5432万円	7億8870万円	道路整備・建物などの建設に使うお金
	その他	物件費	18億円	23億607万円	△5億607万円	業務委託料・消耗品・備品購入に使うお金
		補助費等	13億904万円	13億1549万円	△645万円	補助金・負担金、自動車や建物の保険料、謝礼金など
		積立金	1億6027万円	1億1339万円	4688万円	町の基金に積み立てるお金
		繰出金	14億951万円	14億6448万円	△5497万円	特別会計に繰出金として支出するお金
		その他	1億9285万円	1億7330万円	1955万円	施設の維持補修費、貸付金・出資金などに使うお金
		合計	108億8000万円	99億6000万円	9億2000万円	



町長の施政方針

自立して発展するまちへ

普通交付税の合併算定替えの措置がなくなり、会計年度任用職員制度が始まるなど、大きな転換点を迎えることになる。大山町が自立して発展していくよう引き続き努めていく。この方針で令和2年度当初予算の編成に臨んだ。

1 人口減少対策

まちの強みや魅力をいかした人口減少対策を進める。大山町に住んでよかっと思えるまちづくりを力強く前に進める。

2 交流人口の増加

交流人口の増加に向けた取り組みを進める。大山の自然、歴史、文化、食などの魅力を引き続き磨き上げ、国内外旅行者の満足度向上に努めていく。

4 安心・安全なまちづくり

地域力の向上による防災、教育、福祉の充実に取り組む。大山町高齢者福祉計画、大山町障害者計画を策定し、だれもが安心して住みながら町で暮らすことができるよう取り組む。

5 情報発信の強化

広報・情報発信の強化とICT・AIを活用した事業の効率化に取り組む。必要な情報にすばやくたどりつける環境づくりをめざす。



竹口大紀 町長

チェックします

3月定例会

議案の 質疑 討論

消防団の費用弁償を増額

〔門脇議員〕消防「総務課長」火災費で、費用弁償が100万円増額となっている理由は、や行方不明者の捜索など、消防団の出勤が想定より多くなったためである。

質疑

ナス・パルタウン

〔米本議員〕宅地造成事業の特別会計で、土地売り払い収入がゼロとなつてはいるが、売れなかつたのか。

〔建設課長〕問い合わせは数件あったが、契約には至らず1区画も売れなかつた。

令和元年度補正予算

一般会計



修繕予定のながたはし

橋梁の長寿命化

〔西尾議員〕橋梁の長寿命化として、2カ所で修繕工事を行うようだが、どのような修繕を行うのか。

〔建設課長〕5年に一度の定期点検で、損傷度の高かつた橋梁の修繕を実施するものだ。主に主桁や床板を修繕する予定である。

森林経営管理制度

〔吉原議員〕森林経営管理制度は、平成31年4月から始まった事業だが、まだまだ周知が不足していると思うが。

〔農林水産課長〕前年に引き続き、中山地区で譲与税の範囲内で事業を実施していく。関係者へは、広報などで周知していく。

質疑

こどもと楽しいまちプロジェクト

〔米本議員〕こどもと楽しいまちプロジェクト事業は、前年度より300万円増額されている。

〔企画課長〕大学などを生かしながら実施できる事業は、前年度より300万円増額されている。行政が行うべき事業として提案され採択されたものは、令和3年度に各課で実施する。

カーブミラーなどの修繕

〔加藤議員〕交通安全施設工事とあるが、具体的に何をを行うのか。

〔建設課長〕老朽化したカーブミラーやガードレールの点検を行い、計画的に修繕していく。



破損したガードレール

特定空き家の解体

〔門脇議員〕空き家対策事業の負担金50万円は、何の費用か。

〔総務課長〕特定空き家などを所有者が解体する際に、要件に該当すれば費用の一部を町が負担する。



放置された空き家

地域おこし協力隊の採用

〔大森議員〕起業部門で地域おこし協力隊を採用するようだが、地域資源を活用した地域の課題解決につながる活動とは何か。

〔企画課長〕具体的には決まっていないうが、地域課題の解決への取り組みが起業に結び付き、定住につながるかと考えている。

地区活動費の見直し

〔加藤議員〕同和対策事業の地区活動費補助金は、例年と同額が計上されている。決算不認定を受け、どう変わったか。

〔福祉介護課長〕3地区の代表者に、研修会参加などへの日当や交通費、宿泊費などの見直しについて説明した。

〔加藤議員〕見直すのであれば、減額となるはずではないか。

〔町長〕総枠で計上しているが、精査されたものだけに支払われる。

〔近藤議員〕平成30年度決算で指摘された

〔副町長〕見直しは行ったが、すべての補助金を画的に考えるのは違うと思う。少しずつ見直していくなかで、この結果となっている。

管理料の減額

〔池田議員〕逢坂農産物処理加工所の管理委託料が減額された理由は。

〔企画課長〕管理者にきびしい財政状況を説明し、理解をえて減額とした。

なかやま温泉の資源調査

〔野口俊議員〕なかやま温泉の湯湯試験を計画しているが、湯量が少なくなってきたのか。

〔地籍調査課長〕温泉館は開館から20年が経過している。湯量が少なくなってきたわけではないが、現在の資源を確認しておきたい。

社会福祉協議会の補助金再開

〔吉原議員〕社会福祉協議会への補助金が復活している。再開する。

〔町長〕介護サービスの縮小は介護保険制度の報酬の低さが原因で、補助金の打ち切りとは関係ない。



開館から20年が経過したなかやま温泉

農工商連携の6次産業化を支援

〔野口昌議員〕もうか
る6次化農工商連携
支援事業の対象は。
〔農林水産課長〕意欲
ある農林水産業者が

対象で、県漁協の中山
支所が予定されている。
生産加工に必要な
施設、機械整備に要す
る経費を補助する。

低コストハウスで生産振興

〔大原議員〕県が開発
した鳥取型低コスト
ハウス導入で、生産振
興を行う品目と補助
率は。

〔農林水産課長〕高収
益な野菜・花きなど、
ハウスで生産される
品目が対象である。
実施事業の半額補
助だが、該当しない部
分もある。



県が開発した低コストハウス

防災監の業務

〔大森議員〕任期途中
で退職された防災監
だが、どのような業務
を遂行されてきたか。
〔総務課長〕災害時に
町長へ助言を行うのが
主な役割で、台風で
停電した際にも助言

をしてもらった。
〔大森議員〕本場に必
要な職なのか。
〔町長〕地域防災力を
高めるため、平時から
災害に備える活動に
も尽力してもらった。

御来屋ポर्टフェスティバル

〔加藤議員〕中学生議
会で提案された御来
屋ポर्टフェスティバル
の復活だが、以前に
行われていた際の補
助金より減額されて
いるが。

〔観光課長〕中学生が
中心となり、復活させ
たいという話を聞いて
いる。
以前より少額だが、
実施の手助けになれ
ばと思う。

巡回ラジオ体操が来町

〔西山議員〕8月20日
に巡回ラジオ体操が
予定されているが、ど
ういう経緯があったか。
〔社会教育課長〕県東
部で2017年に実施

されて以降、県内各地
で毎年行われている。
主催者から打診が
あり、取り組むことに
なった。

職員人件費と平均年齢

〔近藤議員〕一般職員
平均年齢は、平成30年
度比で2歳若くなった。
しかし、給与総額は
5000万円増えている。
人件費が増え続け
るのではないか。

〔総務課長〕人事院勸
告によつて期末手当
の支給月数が増え、退
職手当で負担金も増
えたことが原因だ。

読書履歴通帳の導入効果

〔加藤議員〕図書館に
読書履歴通帳機を導入
する効果は。

〔社会教育課長〕読書
意欲の促進や新規利
用者の獲得など、動機
付けとなることを期
待している。



読書履歴通帳機(イメージ写真)

経常収支比率の悪化

〔吉原議員〕経常収支
比率が悪化し、自由な
裁量で使える予算は
少なくなっている。
基金でやりくりし
ているように感じる
が、持続可能なのか。

〔町長〕合併算定替え
の減で、令和元年度
で毎年2億円ずつの
交付税が減ってきた。
今後も行財政改革
に努めたい。

安定した財政運営への懸念

〔岡田議員〕前年度の
当初予算比で9億円
も増えた予算で、将来
にわたる健全な財政
運営が懸念されるが。

〔町長〕財政状況は、予
算規模や予算額から
は計れない。例えば、
町財政には影響のな
い国事業などもある。
財政指標で評価し
てもらいたい。

予算の査定

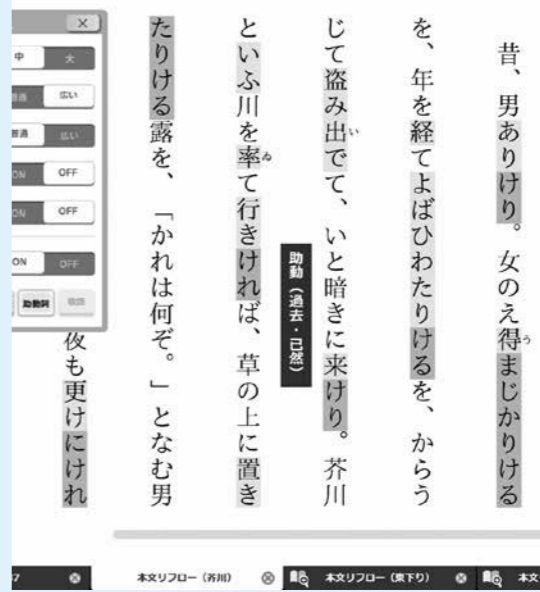
〔米本議員〕令和2年
度の予算編成は厳しい
査定になると言い
つつ、実際には膨れ上
がっている。
査定状況はどう
だったか。

〔町長〕町の裁量で予
算が決まるわけでは
ない。国・県の事業の
有無、大型事業の有無
などで年度によって変
動がある。

デジタル教科書

〔森本議員〕デジタル
教科書の使用料が計
上されているが、どう
いうものか。

〔教育次長〕小学校で
は1教科、中学校では
2教科を各学校の実
態に合わせて選んでいる。



画面に表示されるデジタル教科書

会計年度任用職員制度

〔野口昌議員〕特別
職が前年度比で約
250人減だが、どう
いう職の人が減ったか。
また、会計年度任用
職員285人の主な
配置先は。

〔総務課長〕令和2年
度から会計年度任用
職員制度が導入され、
職員指導員などが特
別職ではなくなる。
会計年度任用職員
は、保育士が多い。

討論

〔反対…加藤議員〕9月に決算不認定となった
要因の一つである地区活動費補助金が、例年
と同額計上されており、実績と見直した点と
を考慮した積算を怠っている。また、機器類の
導入は、利用しない人にとっては何ら利点がな
く、経費負担だけがのしかかる。
出生率の低さや未婚率の高さ、生じつつあ
る地域間格差など、本町の課題を解決しよう
という姿勢が見えない。
〔賛成…西山議員〕町民の健康や子育て、教育
など、地域社会の発展と住民福祉の向上をは
かる予算である。
同和対策事業は部落差別解消推進法の目的
のつとめ、部落差別のない社会の実現をはか
るものだ。
〔反対…大森議員〕公平公正、必要性の観点か
ら評価できない施策がある。
部落差別は基本的に解決済み、というのが
町民の実感ではないか。現に、同和地区に配置
された相談員の相談内容は、部落差別に関
するものはゼロである。
また、防災監の実績や役割からすれば外部
人材の必要性は低い。
〔賛成…岡田議員〕インターネット上には、今
でも悪質な部落差別が氾濫している。国策と
して同和対策事業が実施され地区の環境は改
善されたが、差別が続く限り同和対策関連の
予算は必要である。
本予算には、農林水産業の振興や手厚い子
育て支援なども計上され、町民福祉の向上に
つながる。

予算審査特別委員会の報告

下市駅南出入り口整備などを予算化

付託された令和2年度予算を分科会方式で審査し、3月16日全体会で15議案すべてを賛成多数で可とすべきものと決しました。

主な新規事業では、J R下市駅南出入り口整備、胃がん検診にあわせて実施するピロリ菌検査の助成金、読書結果の可視化により読書を推進するための読書履歴通帳の導入、新規漁業就業者の研修費用補助金、町道末長妻木線改良工事などの事業である。

事務事業では、会計年度任用職員制度の開始により、これまでの嘱託、臨時職員、一部の非常勤特別職員が会計年度任用職員になる。

主な継続事業は、地域自主組織育成支援事業、同和対策事業の地区活動費補助、インフルエンザ予防接種費用助成対象年齢を18歳まで拡充、防災設置、観光振興のための

地域おこし協力隊員費、大山寺旧境内石垣復旧工事、また、令和2年度途中に社会福祉協議会の福祉充実残額がなくなることから人件費などの補助金が再開される。

国民健康保険特別会計予算では、本年度も基金1000万円を取り崩し、資産割を廃止した保険税の激変緩和をはかっている。

水道事業会計予算では、令和元年度に調査した名和第三水源ほか用地取得、同じく名和第三水源さく井業務、中山第二配水池測量設計業務などの委託料、ま

た長田低区配水池連絡管接続工事などである。特別委員会では、可決にあたり次の付帯意見をつけています。



整備予定の下市駅南側

付帯意見

① 防災監の業務内容や役割を明確に

平成31年度からの継続事業だが、業務内容・役割ともに住民に見えにくく、行政が求める防災力強化に効果的か不明瞭である。

また、さまざまな災害に対応できるような人材の採用を検討するよう求める。

② 雪不足および新型コロナウイルスによる経済被害への対応について

雪不足でスキー場の入り込み客数は5年前の1/4、さらに新型コロナウイルス感染で町内産業や観光関連事業者への打撃は大きい。

町は被害報告をまとめ、必要な支援を最大限に行い観光局の体制強化や観光地域づくり法人「DMO」の設立になるよう、積極的な取り組みを求める。

一目でわかる審議結果

○賛否の分かれた議案

○は賛成、×は反対あるいは保留

議案	森本貴之	池田幸恵	門脇輝明	加藤紀之	大原広巳	大杖正彦	米本隆記	大森正治	野口昌作	近藤大介	西尾寿博	吉原美智恵	岡田聡	野口俊明	西山富三郎	結果
1月臨時会																
大山町長及び副町長の給与の減額に関する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人可決
新町まちづくりプランの変更について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成13人可決
公の施設の指定管理者の指定について(大山町 大山スポーツ公園)	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	賛成12人可決
3月定例会																
令和元年度大山町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人可決
令和2年度大山町一般会計予算	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成13人可決
令和2年度大山町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人可決
厚生労働省による効率・公的病院名の公表の白紙撤回と地域医療の充実を求める意見書の提出を求める陳情	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	賛成13人可決
公的・公立424病院に対する具体的対応方針の「再検証」要請を白紙撤回し、地域医療を充実するよう求める意見書	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人可決
日本軍「慰安婦」問題の真の解決を求める陳情	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	賛成1人不採択
女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の提出を求める陳情	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成12人可決
女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成12人可決

○全会一致で可決・承認した議案

1月臨時会……補正予算(1件)
 3月定例会……条例(18件)、補正予算(12件)、当初予算(13件)、工事請負契約(1件)、意見書(1件)、計画(2件)、町道認定(2件)、人事(3件)、諮問(1件)
 議案の議決は、杉谷洋一議長を除く15人で行います。

新型コロナウイルス対応で緊急質問

3月3日から小中学校が臨時休校になったことを受け、近藤議員から新型コロナウイルスの対応について緊急質問がありました。

〔近藤議員〕県内で感染者が出ていない段階で、学校を休業する理由は。

〔教育長〕2月28日、文科省から新型コロナウイルス流行を早期に終息させるうえで、今が極めて重要な時期であり、子どもたちの感染リスクに備えるため、学校の一斉臨時休業について通知が出された。

3月2日からの休業はあまりにも唐突で、保護者の負担、子どもたちの動揺などを考慮し、3日から休業することにした。

〔近藤議員〕保育所や児童クラブでの対応はどうするか。

〔町長〕児童クラブでは、職員は37・5度以上の発熱やせきがある場合の出勤停止、児童も同様に症状がある場合は受け入れしないこと、手洗い・うがいの励行、物品などアルコール消毒、物品などのアルコール消毒の徹底など、対策を講じている。

〔教育長〕保育所も厚生労働省の方針に準じて、感染予防に留意し開所している。園内で児童や職員が発症した場合は、原則14日間の休園を行い、園舎の消毒を行う。

〔近藤議員〕休業中の児童生徒や保護者、地域住民が心得るべきガイドラインの広報についての考えは。

〔町長〕さまざまケースが想定されるので、その都度、協議し対応する。情報は、防災無線、ホームページ、SNSで提供する。

国へ提出する3本の意見書

右のページの採択した陳情は、下記の内容で国へ意見書を提出しました。

意見書名	意見書の内容(要旨)	提出先
公立・公的424病院に対する具体的対応方針の「再検証」要請を白紙撤回し、地域医療を充実するよう求める意見書	厚労省は、昨年9月、すでに各地域で合意している公的・公立病院の「具体的対応方針」の「再検証」を要請する424病院を突然公表した。この中には鳥取県の4病院が含まれており、関係者に衝撃と不安をもたらした。 決定権を有しない政府・厚労省が強制ともとれる要請を行う病院名の公表は撤回すべきである。また、国は深刻な医師不足などの解消や地域医療の堅持の支援にこそ力を入れるべきである。 以上のことから、公立・公的病院に対する「再検証」の要請を白紙撤回し、安心して住み続けられる地域医療の構築を求める。	内閣総理大臣 厚生労働大臣
女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書	選択議定書は女性差別撤廃条約の実効性を高めるために、1999年の国連総会で採択され、2020年1月現在、締約国189カ国中113カ国が批准している。 国連が定めた国際的基準の適用を積極的に国内で進めることが、締約国である日本の役割である。女性差別撤廃委員会や国連人権理事会は、選択議定書の批准を日本政府に勧告している。 政府の第4次男女共同参画基本計画は、「女性差別撤廃条約の積極的遵守などに努める」「選択議定書は早期批准について真剣に検討を進める」としている。 以上のことから、選択議定書のすみやかな批准を求める。	衆議院議長 参議院議長

門脇・大原議員から発議された意見書を議決し、国へ提出しました。

意見書名	意見書の内容(要旨)	提出先
中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書	ひきこもりは、最近では中高年層に及ぶ大きな社会問題になっており、全国で約61万人にのぼる。ひきこもり期間の長期化や高齢化により、社会的に孤立するケースも少なくない。 政府は身近な場所での相談支援や社会参加の場の充実など、これまで以上に実効性ある支援と対策を講じるべきである。 ①身近な場所での相談支援を行うため、自立相談支援機関の窓口アウトリーチ支援員を配置し、対本人型のアウトリーチ支援を実施すること。 ②市区町村による「ひきこもりサポート事業」の強化をはかること。 ③「断らない相談支援」や「伴走型支援」など、市区町村が包括的に支援することができる新たな仕組みを構築すること。	内閣総理大臣 厚生労働大臣

みなさんからの陳情はこうなりました

3月定例会で審査した陳情・請願の採択結果を報告します。

採択とした陳情

題名	提出者	付託した委員会の意見・結果	本会議採決結果
厚生労働省による公立・公的病院名の公表の白紙撤回と地域医療の充実を求める意見書の提出を求める陳情	鳥取県医療労働組合連合会 執行委員長 池原 裕子 (ほか1名)	(教育民生常任委員会) 少子高齢化対策を推進するなかで、地域の安全安心を維持することは重要である。特に「再検証」とされた鳥取県の4病院は、医療資源が乏しい地域において、命と健康を守るうえで必要であり、安心な地域づくりには欠かせないものとする。 採決の結果、全会一致で採択すべきものと決した。	採択 採択13人 不採択2人
女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書の提出を求める陳情	新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子	(教育民生常任委員会) 女性差別撤廃条約の締約国として、国連が定めた国際的な基準の適用を国内で進めることが重要である。男女共同参画の社会をめざす観点から、一歩前進をはかるべきである。 採決の結果、全会一致で採択すべきものと決した。	採択 採択12人 不採択3人

不採択とした陳情

題名	提出者	付託した委員会の意見・結果	本会議採決結果
日本軍「慰安婦」問題の真の解決を求める陳情	新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子	(総務常任委員会) 町村の権限外である外交問題に関する意見書の提出を求めるもので、採択することは好ましくない。 また、本町においてその公益上の必要性も認められない。 採決の結果、全会一致で不採択すべきものと決した。	不採択 採択1人 不採択14人

◇町行政に意見や要望があるときは、どなたでも請願書や陳情書を議会に出すことができます。(請願には議員1人以上の紹介が必要ですが、陳情の場合は必要ありません)

◇請願権は国民の権利のひとつです。提出の方法など詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

大山町議会では、常任委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

教育民生 常任委員会

学校 ICT 支援

◎活用支援の委託内容は。

▲教員の負担軽減のため、校務用・児童生徒用パソコンなど情報機器の取り扱いや機器利用方法などの専門支援を委託する。

幼児学校教育課

読書履歴通帳

◎記録方法と内容は。

▲貸し出し手続きの後、金融機関の通帳同様、利用者が通帳を差し込み記録する。借りた日・本の題名・著者名や本の定価などの情報が記録される。

社会教育課

健康診断・がん検診

◎健診票の配布方法と新規助成対象の検査は。

▲世帯配布から個人ごとの郵送に変更。従来の胃がん検査とあわせて新規にピロリ菌検査を行う。

健康対策課

名和陸上競技場を視察



トラックの修繕箇所を確認

3月5、6、9、10、11日の5日間、所管する各課から令和2年度の予算や新規事業の説明を受け審査した。また、陳情の審査を行った。

10日には名和伝承館の太鼓や名和陸上競技場の現場視察を行った。

社会福祉協議会助成金

◎助成金の再開理由と内訳は。

▲令和2年度には、事業継続の必要額が社会福祉充実残額を上回り、残高ゼロとなる。さわやか事業・人件費・福祉バス運行事業などに2830万円。

福祉介護課

インフルエンザ予防接種

◎助成対象は何歳まで拡大か。

▲予防接種費用の助成対象を生後6カ月から15歳以下を18歳以下の高校生相当年齢の者まで拡充する。

こども課

中山清掃センターの解体

◎解体工事の内容は。

▲ダイオキシンなどの残留物を汚染度に応じ作業し、周囲に影響のないように安全に処分する。

住民課

3月定例会

常任委員会の活動

総務 常任委員会

下市駅周辺の整備

◎床下浸水などの水害が起きる駅周辺の排水対策は。

▲排水対策としての設計業務委託料を計上した。また、駅の南側からも乗降できるように整備する。

総務課

デマンドバスの新しい取り組み

◎デマンドバス(スマイル大山号)の今後の運営は。

▲人材不足が進む貨物運送業者、さらには地域課題を抱える地域自主組織と連携して貨客混載事業に取り組み、利便性と採算性の向上をめざす。

企画課

地域自主組織

◎令和元年度で町内すべての地区で組織が立ち上がったが、その支援は。

▲運営補助10地区分で3000万円、さらに新規の立ち上げ分として所子・光徳の2地区に200万円ずつ支援する。

企画課

新しくなった大山口駅などを視察



コンパクトで明るい駅舎

3月5、6、9日の3日間、所管する各課から令和2年度当初予算について説明を受け、陳情についても審査した。

9日には、雪不足と新型コロナウイルスの影響が懸念される旅館街、修繕予定の道路や橋、完成間近のJR大山口駅、明るくなったと評判の防犯灯設置箇所を視察した。

住宅新築資金などの貸し付け

◎償還が滞っているこの事業の滞納額は。

▲令和2年2月での滞納額は2億7261万円となっている。

税務課

売電収入は基金へ

◎償還が終了するが、売電収入はどうなるのか。

▲基金への積み立てにし、今後、解体費などの経費に充てる。



唯一の町有風車「太空海号」

企画課

あなたの声を町政に

13人が町長・教育長・選挙管理委員会委員長に一般質問を行いました。

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員長などの方針を問うものです。

大山町は1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

一般質問席

ページ	質問事項	質問議員
18	1. 保育事業について 2. 男女共同参画について	近藤 大介
19	1. 3年間の行政運営について 2. 老人の声をどう受け止めているか	西山 富三郎
20	1. 公民館分館の運営方針について 2. 教育振興基本計画について	森本 貴之
21	1. 待ったなしの行財政改革は進んだか 2. 待ったなしでやってほしい、観光行政と少子化問題	西尾 寿博
22	1. 大山町の情報戦略について 2. 大山町行財政改革大綱について	門脇 輝明
23	1. 今年度の予算編成の方針と行財政改革は 2. 公共施設等の最適な配置の実現は	吉原 美智恵
24	1. 家族農業を守っていくには 2. SDGsへの積極的な取り組みを 3. 行政の効率化	岡田 聡
25	1. 防災・減災と危機管理について 2. 農作業安全対策について 3. 少子化対策について	大原 広巳
26	1. 竹口町政1期最終年度にあたって 2. 教員の変形労働時間制を導入せず、多忙化解消の具体化を	大森 正治
27	1. 施政方針を問う 2. 高齢者にもっと自由な移動方法を	米本 隆記
28	1. 地域自主組織について 1. 町民の顕彰について	池田 幸恵 野口 俊明
29	1. 買い物弱者対策の推進を	大杖 正彦

議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます

経済建設 常任委員会

農業委員と適正化推進委員

Q農業委員と適正化推進委員の違いは。

A農業委員は過半数が認定農業者で委員会での議決権があり、適正化委員はそれ以外の業務を担当区域で受け持つ。

農業委員会

鳥獣被害対策の拡充

Q単町事業として実施する内容は。

A県補助対象外の家庭菜園なども補助する。補助率1/4で上限2万5000円である。

農林水産課

水道料金の支払い

Q上水道・下水道料金支払いは毎月だが2カ月ごとにしてはどうか。

A2カ月ごとにしても、検針は1カ月ごとで経費は変わらないが、納付書発送の経費と手間が簡素化されるので検討する。

水道課

わずか37日間の営業日数



記録的な雪不足のスキー場

3月5、6、9日の3日間、所管する各課から令和2年度当初予算の説明を受け審査し、付託されたすべての議案を可とすべきとした。

特に今シーズン、記録的な雪不足でスキー場関係の商工活動におよぼした影響や被害状況と対策について聞き取りを行った。

宅地造成

Q現在進んでいる宅地開発の現状は。

A民間事業者が開発した名和西坪地内22区画が売り出されている。



移住定住策で宅地開発が進む

建設課

雪不足問題

Q今後も雪不足はありうるが、対策は。

Aだいせんホワイトリゾート、旅館組合など地元大山全体で対策に取り組む考えである。

観光課



近藤 大介 議員

大山町保育の特色は

教育長 自然との触れ合いや
外国語活動である



保育所経費の増大も気になる

〔近藤〕いまや本町でも1歳児の8割以上が保育所に入所する状況になり、子どもの健全な成長に保育所の役割はますます大きくなる。本町の保育所の特色は。

〔教育長〕自然との触れ合いを取り入れた保育や外国語活動、読書推進や食育、運動などによる体づくりのほか、地域の方との交流活動に積極的に取り組んでいる。

〔近藤〕保育所経営の基本方針は。

〔教育長〕基本的な生活習慣や忍耐力、思いやりや協調性を身につけ、ふるさとを愛する心を持って育つよう、家庭や地域と連携した取り組みを進めている。

〔近藤〕経営には、限られた財源でどう望ましい保育を行うか、施設の計画的な建設・修繕、適正な労務管理などの視点が必要ではないか。

〔教育長〕教育への投資が未来への投資と考えている。本町の保育はよそよりもさらに質の高い保育であるべきと考え運営している。

〔近藤〕男女格差の国際調査で日本は世界で121位と不名誉な状況にあり、男女共同参画社会の実現は国家的な課題になってきている。

本町の男女共同参画事業の現状と課題は。

〔町長〕年7回行う人権セミナーでは必ず1講座は男女共同参画をテーマにしている。

現在のところ町内では総体的には女性の参画拡大は十分とは言えない。町が委嘱している各種審議会への女性委員の登用状況も十分ではなく、引き続き女性の登用について働きかけていきたい。



男女平等は持続可能な開発目標(SDGs)のひとつ

〔近藤〕2年前に「政治分野における男女共同参画推進法」が制定されている。法で定める必要な施策の認識や、本町での取り組みは。

〔町長〕必要な施策は、議会の議論を尊重した

い。町での取り組みは、十分な周知ができていないので、今後、住民の関心と理解が深まるよう、研修会などを通じて啓発活動を行っていく。

町長 女性の参画は
十分と言えない

男女共同参画の 現状は

町民に勇気と 希望を与えたか

町長 持っていたいたと思う



西山 富三郎 議員



つながりを育む

〔西山〕一筋の道に起伏の3年間、町民から出発する行政運営であり、町民に勇気と希望を与えたか。

〔町長〕スピード感のある行政運営に努めた。合併後初の、人口社会増などの明るい話題もあり、町民の皆様には勇気と希望を持っていただいたと思っっている。

〔西山〕ある市の職員は、「プランニングに机はいらない。必要なのは足と目、土地の人と対話する耳と口、土地の人の気持ちになり

きる心だ。」と訴えている。実践はどうか。

〔町長〕行政運営においては、業務にあたる職員一人ひとりがまさに行政の耳目である。常に公平・公正な視点が欠かせず、相互のバランスをはかることを忘れてはならないと考えている。

〔西山〕「ヒトは人間に生まれたい、人間になる。」と言われる。

〔教育長〕子どもは、つながりの中で育つのであって、周囲の人々との関係性の中で人間になると言われている。

老人に対する施策は

町長 多様なサービスを
提供している

〔西山〕町長は子どもには力をいれるが年寄りには力をいれない、という声を聞く。

老人に対する認識と施策は。

〔町長〕65歳以上といっても健康状態や生活環境はさまざまである。現役で仕事についている人、社会活動を楽しんでおられる人、趣味や健康増進にいそしむ人もある。町としては、元気で生きがいを持ち住み慣れた土地で暮らしていただきたいと願っている。

なサービスを提供している。相談は地域生活支援センターが中心となっており、状況に応じたサービスを受けていただいている。

〔西山〕老人の孤独死対応は。

〔町長〕ひとり暮らしの高齢者世帯も増え、予防として民生委員の見守り、県の事業で中山間集落見守り活動や社会福祉協議会活動と連携し予防に努めている。



ペタンクの仲間たち



森本 貴之 議員

分館機能を町から切り離すのか

教育長 強いるものでない



地域に根差す活動を支える高麗分館

〔森本〕大山公民館高麗分館の職員体制の変更について説明を受けた。分館は、地域においてどのような役割を担っていると考えるか。

〔教育長〕生活に即する教育や文化に関する事業などを行い、生活文化の振興や社会福祉の増進に寄与することである。

分館は地区の住民のために公民館行事を行うものであると考える。

〔森本〕令和2年度から運営体制を変更し、段階的に一本化を進め、分館の公民館機能を「公」から「民間」へ移行する方針もあるということが示された。分館の公民館機能を町から切り離す考えか。

〔教育長〕地域自主組織の活動が充実していけば、公民館機能と重なることが課題である。地域の実情に応じて取り組むが決して強いものではない。地域が望むのであればというところである。

〔森本〕大山町教育振興基本計画は、町総合計画の教育に関する分野別計画として位置付けられる。本計画の前期となる、平成27年度から平成31年度までの5年計画の総括は。

〔教育長〕幼児教育では、知・徳・体の基礎をバランスよく育む保育を行った。

学校教育では大山検定を実施し、ふるさとを愛する気持ちの醸成をはかった。

社会教育では公民館や図書館を拠点とし、講座、教室などの学習機会を提供した。

いずれも一定の成果を出した。



特色あふれる名和小相撲大会

今後の教育方針はふるさと教育を根本に据える

〔森本〕先進的なICT教育や、郷土愛を育むふるさと教育の推進も求められる。

後期の5年計画がスタートする令和2年度以降、どのような方針で教育を進めるか。

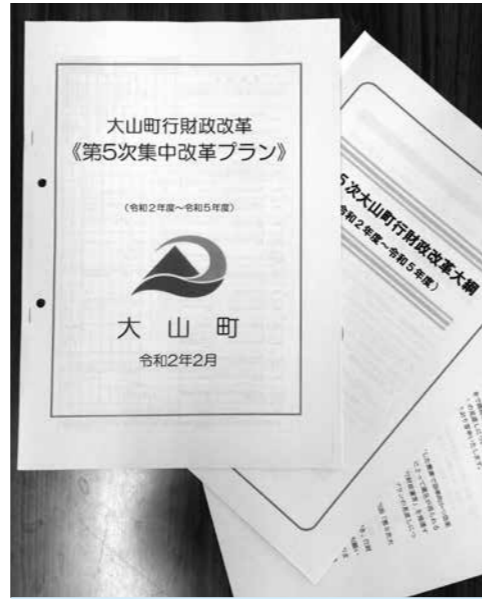
〔教育長〕ICT化の発展により先進的な教育は計画的に進めていかなければならない。本町を思い、支えてくれる人材を育てる、ふるさと教育を根本に据えて進めていく。

行財政改革は進んだか

町長 今後とも取り組む



西尾 寿博 議員



厳しい指摘の審議会答申

〔西尾〕本年度予算では実質5億円の基金を取り崩している。行財政改革を断行しなければ財政が行き詰まる。どんな行財政改革に取り組んだのか。

〔町長〕社会人口減少を食い止め、持続可能なまちづくりに取り組んだ。

〔西尾〕大山町行財政改革審議会は人件費の増加を懸念し、職員定数適正化計画の必要性が指摘されたが。

〔町長〕定員管理の指標を作成し、職員採用の目標数値を設定する。

〔西尾〕各自主組織に高額な補助金を出している。町民の理解が得られているか。

〔町長〕各自主組織に年間300万円を支援している。直営より安価で主体性のある事業となっている。

今後、事業費の積み上げ方式による交付などの検討をしたい。

〔西尾〕国債などで運用している歳計現金7億円はどうするの。

〔町長〕出納閉鎖後の6月頃、基金に振りかえる。

〔西尾〕観光行政と少子化対策は、すぐにでも取り組まなければならない。

今年の雪不足で観光業は瀕死の状況である。10年以上前から雪不足が心配されながら、観光行政への対応が進んでいない。

すぐに何か手を打たないか。

〔町長〕グリーンシーズンを活用する観光モデルへの転換を視野に入れて、アウトドアアクティビティ推進などの施策を実施したい。

〔西尾〕昨年の人口は社会増で17人、全体では、168人減少し、1万6180人である。

待ったなしの観光行政と少子化問題は効果がある施策をおこなう

有効な施策もあったが、少子化は止まらない。今後の対応は。

〔町長〕来年度、賃貸住宅などの計画を検討する。

また、結婚対策事業で、地域や自主組織、民間団体などから要望があれば、どんな支援ができるか考えたい。



宅地開発が人口増に貢献



門脇 輝明 議員

情報の戦略目標は

町長 明確に定めていない

【門脇】「楽しさ自給率の高いまち」を達成するための情報に係る戦略目標は明確になっていないか。情報部門の体制や情報を受け取る側からの意見をフィードバックする仕組みはあるか。

なければ、モニター制度の創設は。

【町長】目標を明確に定めたものはないが、必要とされる情報をタイムリーに、分かりやすく伝えることに重きを置き、広報活動を行っている。

体制は総務課広報室の4人で、効果的な情報発信に努めている。意見を汲み取る仕組みは「町長への手紙」と、ホームページ上に「みんなの声」という投稿スペースを設けている。

【門脇】公平・公正、そして満遍なくは分かるが、情報には軽重がある。

軽重を判断するうえで、大事なのが戦略目標だ。

広報のあり方は今のままでいいか。

【町長】就任以来、情報発信に努めてきた。今後受け手に伝わる情報発信に努める。



どう変わるホームページ

財政状況の改善は

町長 簡素で効率的な運営を実現する

【門脇】集中改革プランの事業で、期待している財政状況の改善は。

【町長】可能な限り数値目標を設定したが、中には効果額や数値だと内容にない項目があり、効果の考え方を記述した。

財政状況の改善だけではなく、今の時代に求められている簡素で効果的かつ効果的な行政運営が実現できるよ進める。

【門脇】職員の定員適正化計画は行政改革の大きなポイントの一つだが、計画自体はできているのか。

【町長】きちんとした定員管理計画はないが、類するものを可能な限り早く策定したい。

【門脇】地域自主組織の自主財源を増やす目標があるが、ふるさと納税として地域自主組織に渡るお金は今後変わるかわらないか。

【町長】制度は今後見直すことがあるが、寄付者が選んだ使途に使わせていただくのが原則だ。



自主組織への行革の影響は

予算編成と行財政改革は

町長 事業の見直しや効率化をすすめる

【吉原】予算編成の権限は町長に属しており、独自の政策や重点の置き方は町長によって変わると考えられる。

財源に限りがあり、歳出を抑える考え方も大事であるが、持続可能な財政の確立をふまえた予算となっているか。

【町長】地方交付税の減や、会計年度任用職員制度も始まり、最少の経費で最大の効果をあげることが念頭に置かなければならない。すべての職員が、大切な税金であることを意識し、日々の業務を遂行していくことが大切である。事務事業の見直しや効率化を積極的に進めていく。

【吉原】事業の見直しのなかで、継続されている防災監の仕事や子どもと楽しいまちプロジェクト事業など、検証されたのか疑問である。

行財政審議会の指摘にもあるが、課のワーキンググループの活用も大切ではないか。

【町長】今後、しっかりと改革に生かしていく。



予算編成をする財務課

公共施設の最適な配置は

町長 情報の周知に努める

【吉原】公共施設などの管理計画は、今後個々の施設計画や老朽化対策に移るが、町の貴重な財産であり住民の生活に直結する問題である。

計画の実施には住民の理解と協力は欠かすことができず、地域の合意形成は重要である。これからの公共施設の最適な配置は。

【町長】現在、数多くの公共施設を保有しており、限られた財源の中ですべての施設を維持管理することは困難である。

本町では、今後30年間で施設を20%減らすことを目標に掲げている。

この計画をもとに、地域住民と協議して公共施設の最適な配置をめざす。

【吉原】これからの総合戦略で財政推計から見ると、校舎やほかの建物を更新すると、今の規模では年間約5億円必要となる。住民に現状を知らせて協議していくべきでは。

【町長】適切な情報の周知に努める。



解体される中山清掃センター



岡田 聡 議員

家族農業を守るには

町長 現状の中で支援していく

〔岡田〕国連食糧農業機関によると家族農業は、先進国、開発途上国ともに、食糧生産にとって主要な農業形態となっており、世界の食糧生産額の8割を占めている。このような状況から、国連では2019～2028年を家族農業の10年と定め、施策の推進や知見の共有などを求めている。

どのように認識しているか。

〔町長〕食糧安全保障や食糧主権を支える重



環境や地域を守る家族農業

要な基盤と認識している。

〔岡田〕JAグループ鳥取は農業生産の拡大や地域の活性化の実践を通じて、家族農業をはじめとする多様な農業の発展をサポートしていくとしている。

町としても支援していくべきと考えるがどうか。

〔町長〕小規模農業者でも持続的に農業をしていけるように、現在の支援策の中でできる限り支援していく。

SDGsへの積極的な取り組みを

町長 総合戦略の中に盛り込む

〔岡田〕政府の推進するアフションプランの3本柱、「企業とSDGs」「地方創生とSDGs」「次世代と女性の能力開化や権限付与」は、日本ならではのSDGsの形を作り、全国に行き渡らせる、となっている。

持続可能な自治体をつくるためにも、積極的に取り組む必要があるのではないか。

〔町長〕グローバル、国レベルの枠組みとしてだけでなく、企業や地域の取り組みも同時に進めるべき内容が強く、地域レベルとの結びつきを工夫する必要があるので。作成中の第

2期総合戦略に、地域レベルにフィットさせながら計画に盛り込む予定である。持続可能な大山町が展開できるよう、広めて行こうと考えている。

〔岡田〕町内企業とタイアップして取り組みが企業価値が上がると思うが。

〔町長〕負担が大きくなる範囲で進めた



多様なアプローチのSDGs

※このほか「行政の効率化」も質問しました。

有事の備えは

町長 体制を強化する

〔大原〕防災監の役割と今後の方針は。

〔町長〕有事の際の災害対策本部設置時での助言、自主防災組織の育成や指導、地域防災計画の見直しなどを行う。

〔大原〕防災士の拡充状況と町との連携は。

〔町長〕町消防団から5人の新規登録があった。令和2年度には防災監が主となり、町内防災士との意見交換会を予定している。

〔大原〕防災マップの改定状況は。

〔町長〕今回は、津波災害警戒区域と基準水位を示すこと、警戒レベルの改定などを行う。

元年度中には完成し、全戸配布をする。

〔大原〕新型コロナウイルス感染症対策は。

〔教育長〕行事や活動を中止や変更し、状況に合わせて対応する。

大型特殊免許の取得へ

町長 周知をはかる



公道での事故に気をつけて

〔大原〕農作業機付き農耕トラクターの公道走行の要件が変わった。長さが4.7m、幅が1.7m、高さが2m以上のトラクターが対象となる。

農耕車限定の大型免許は、県の試験場と農業大学校でのみ受験で

きる。今回要望が多く予約制で回数を増やすと聞いた。

農繁期を前に、早く周知すべきと思うが。

〔町長〕農業団体の会合などですでに周知しているが、「広報だいいせん」でも周知をはかる。

出生数の増加を

町長

子育て支援など充実させる

〔大原〕本町の出生数が3年連続100人を切る見込みだが、対策は。

〔町長〕高校生の通学費助成や保育サービスの充実などにより、子育てしやすい環境づくりを推進する。

〔大原〕3世代住宅改築支援事業を考えないか。

〔町長〕令和2年度に見直しを予定している移住定住住宅助成事業において、3世代同居者に対して補助金を加算する予定である。

〔大原〕小規模保育所の必要性は。

〔教育長〕円滑な入所対応のため必要である。



定員オーバーの解消へ



大森 正治 議員

竹口町政 4 年目の行政は

町長

ボトムアップと トップダウン両方で



業務に専念する職員

〔大森〕2020年度は、竹口町政1期目のまとめの年になる。子育て支援策などの効果で、2018年度の人口動態が転入増となった。これを持続性あるものにする施策は。〔町長〕人口の社会増に近道や特効薬はない。「誰もが住んで良かったと感じられるまち」をめざし、長年積み重ねてきた施策をさらに積み重ねていく。〔大森〕自らがけた役場の機構改革をどう評価しているか。〔町長〕100点満点

とは思わないが一長一短がある。不都合な点は変更しつつ、機能的な行政に努める。〔大森〕職員との意思疎通や政策提言をどのようにしているか。〔町長〕「オフィスアワー」を作って、職員からの電話・来訪を可能としている。職員提案制度で政策提言や課題の提起を受け付けており、政策に結びついたものも多い。ボトムアップとトップダウン、両方合わせいく。

教員の多忙化解消の 具体化を

教育長

人員の拡充を求める

〔大森〕昨年12月、公立学校の教員に「1年単位の变形労働時間制」の導入を可能にする法律が制定された。これは逆に長時間労働を強いることになり、導入すべきでないと考えられているか。〔教育長〕長時間労働をしている学校にはメリットは少ない。現状の長時間勤務を容認、助長しかねない。県の条例が作られても、すぐに導入するのはなく、まずは学校での業務改善の推進が大切である。〔大森〕教員の多忙化解消のためにどんなことを具体化してきたか。

また、今後はどうか。〔教育長〕学習支援員、学校主事、図書館司書の配置や部活動に休養日の設定をした。今後は、教員業務アシスタントの拡充や加配教員を要求したい。

〔大森〕教員の業務削減が必要だ。多すぎる学力テストの精選をしないか。〔教育長〕学校現場の状況を検証して、テストの精選につなげたい。



教員の变形労働時間制とは
教職員の働き方改革として、繁忙期に一日の勤務時間を長くし、その分を閑散期の夏休みなどに調整する制度。

住んでよかったと 思える町とは

町長

住んでいることを誇れること



米本 隆記 議員



新年度の事業推進は

〔米本〕人口が社会増になったと喜んではいけない。今やらなければならぬのはいかに人口減少を抑えるかではないか。それが子育て支援・移住定住施策と受けとめているが、どうか。〔町長〕関係交流人口の拡大が重要であり、本町を知ってもらい、来てかかわって、住んでもらうための取り組みが必要だ。〔米本〕農林水産業は方向性を示してあるが、

商工業はどう進めているのか。〔町長〕企業誘致や起業も含めた町内企業の成長・発展を支援していく。〔米本〕「住んでよかったと思える町」とはどんな町か。〔町長〕ここに住んでいることを誇れるということに尽きる。それには、自然や人の良さを実感し、街の魅力を話せる人が増えることではないか。

高齢者の移動方法は

町長

互助や共助で検討したい

〔米本〕免許返納をした人が「目的地に行く時はデマンドバスを利用するけど、帰りはタクシーを使っている。」、理由を聞いてみると、「帰りに頼んでも、そこで1時間も待たなければならぬ。」「買い物して荷物があると、家まで重い。」「と話された。これでは利用が少ないうちも納得できる。本来この公共交通の目的は、交通弱者になりうる高齢者の移動手段ではなかったのか。この現状をどうするか。〔町長〕現在、バス事業者やタクシー事業者

の了解をえる必要があり、自宅までは送迎ができない。高齢者に不便をかけていることは承知している。デマンドバスをタクシー助成制度に一本化を考えたが、財政負担やタクシー運転者の確

保などの課題がある。地域自主組織を中心とした互助や共助による移動支援ができないか検討を進めたい。デマンドバスの増便は、公共交通会議の中で話し合いたい。



交通弱者の支えになるのか、デマンドバス



池田 幸恵 議員

地域自主組織と行政との連携は

町長 手引きを作成する

【池田】すべての旧小学校区で立ち上がった地域自主組織に望む役割は。

【町長】地域固有の課題を実情に合わせた方法で解決し、地域間交流を活発化させて地域社会を維持することである。

【教育長】楽しいと思えて安心、安全な地域づくりを地域住民と行政の協働で実現することである。

【池田】議場での町長答弁でさまざまな課題に

おいて自主組織と協力し実施したいとあったが、どのような協力、連携をしたのか。

【町長】各課への連携協力は企画課が主導して行っている。

【池田】集落支援員の負担が大きいのではないか。

各課の情報をまとめたものを提供はできないか。

【町長】手引きを作成しスムーズな連携を深めたい。



買い物弱者対策の推進を

町長 直ちに対策する状況にはない



大杖 正彦 議員



住民の共助による移動手段

【大杖】県内では免許返納などで、生活の足に不便を感じる人が増加中、と新聞が報じている。高齢者や独居世帯の実態はどうか。

【町長】本町は買い物弱者の割合が高い段階に位置付けられているが、デマンドバスやタクシー助成制度などで移動手段を確保している。生協の注文販売、イオンや町内スーパーの商品配送、介護サービスもあり、直ちに対策する状況にはない。

【大杖】買い物弱者対策として、見守り活動

をする自主組織など行政が連携して、環境整備に取り組みないか。

【町長】本町における公共交通機関は、最低限度の生活を支えるインフラと考えている。

これを超える部分は共助による移動手段や買い物支援に期待する。

【大杖】車の相乗りアプリ「CREW」を自主組織に広げる考えは。

【町長】観光分野の一部エリアに限り、民間事業者に影響を与えず、相乗効果が生まれるようであれば活用していきたい。

15周年事業はどうする

町長 式典を開催する考えはない



野口 俊明 議員

【野口俊】町民の顕彰についての考えは。

【町長】大山町表彰条例の規定にあるとおり、表彰することにより、自治振興につながるものだと考える。

【教育長】教育委員会では、教育振興に寄与された人を表彰する制度や、児童・生徒を表彰する教育長表彰がある。

【野口俊】表彰審議委員会の開催状況は。

【町長】竹口町政での委員会の開催はしていない。

【野口俊】本年3月末でまる15年になる。15周年事業はどうする。

【町長】15周年事業として、式典を開催することは考えていない。

町総合文化祭のなかで振興に寄与された人模範と認められる人を表彰する考えである。

【教育長】前回の表彰から5年経過し節目の年になっている。該当者の漏れがないよう慎重にすすめていきたい。



合併10周年式典での様子

1月臨時会 (1月20日)

町長及び副町長の給与減額条例、大山スポーツ公園指定管理、一般会計補正予算など4議案を可決した。

質疑

給与減額条例制定

【野口俊議員】慰霊祭で着用する礼服は、備品でなく消耗品ということか。3カ月でなく、1年間減額の考えはないか。

また、副町長にも責任を負わせるのが適切か。

【町長】消耗品予算の中からの執行である。内部協議を重ねた。すべての責任は私にあるが、事務方の責任は副町長にある。

指定管理者の指定

【西尾議員】現在の業者は、実績がしっかりしていない。新しい業者も育てる必要があると思うか。

【副町長】新しい業者による新しい風も必要と思うが、次点の業者は、施設をどう運営していくのかに、明確に答えられなかった。

米本議員

次点の業者の提案の方が、収支・内容とも、良く見えるが。

【副町長】結果的に大山にプラスになる必要がある。次点の業者は、宿泊について難しいと言いつきもなかった。

一般会計補正予算

【門脇議員】バス路線の県補助金は減るのか。

【企画課長】広域バスの県補助金は、乗車率2人未満だと減になる。

【野口昌議員】公共交通対策費5400万円ほどの路線か。

【企画課長】広域バス路線5路線中4路線が乗車率2人未満。また、県補助金の減額対象ではないが、生活路線3路線は、すべて1人未満。



乗客のいない路線バス

議会からのお知らせ

12月定例会以後のそのほかの議会の動きなどをお知らせします。

議会改革調査特別委員会報告 速報

平成30年9月議会で設置した議会改革調査特別委員会は、これまで18回の委員会を開き、議会機能向上に向け検討を重ねてきました。現在までの調査状況をお知らせします。



議員定数

議員定数は現状の16人とします。

議員報酬

報酬は現状を維持します。
現在の議員報酬額は、西部地区特別職報酬等審議会の答申を適用しています。

議員報酬額(月額)

議長	31万6000円
副議長	23万5000円
常任・議運委員長	22万6000円
議員	22万1000円

常任委員会の構成

4委員会を継続します。

委員会名	所管課	員数
総務	総務課、税務課、財務課、会計課、企画課	5人
教育民生	福祉介護課、健康対策課、こども課、住民課、社会教育課、幼児・学校教育課	6人
経済建設	農林水産課、農業委員会、地籍調査課、建設課、観光課、水道課	5人
広報	議会だよりの発行	8人

事務事業評価の実施

各常任委員会で所管する事業の中から数件抽出して、決算審査とあわせ議会が評価し、町長に提示して改善をうながします。

タブレットの導入

議会も情報化時代に対応します。
令和2年度に町から貸与を受け、議案やデータの共有と、過去のデータ閲覧や確認がスムーズに行えるようになります。



タブレットの研修(日南町議会を視察)

「議員と語る会」中止に

新型コロナウイルスの感染が世界や国内で広がり、大きな脅威となつていきます。鳥取県内でもついに4月10日に感染者が出ました。そこで、4月に計画していました「議員と語る会」を今回は中止することにしました。
心待ちにしていらっしゃった方もあったと思いますが、次の開催時まで待っていただき、その際にはぜひご参加いただきますようお願いいたします。

県の議会広報コンクールで佳作

第27回鳥取県町村議会広報コンクールに応募した「議会だより だいせん」56号が佳作に選ばれました。引き続き、読んでみたくなる、わかりやすい紙面作りに努めていきます。みなさんからのご意見をお待ちしています。



議会事務局の紹介

議会事務局の職員は、議会運営がスムーズにいくようさまざまな業務をしています。いわば、縁の下の力持ち的存在として議会活動を支えています。
4月の人事異動で、職員1人が異動になりました。



事務局長 持田 隆昌
会計年度任用職員 関 真弓

主任
三谷 輝義

水道課から議会事務局へ。
これからお世話になります。



前職員 主幹
生田 貴史

水道課へ異動。
2年3カ月、広報担当としてもお世話になりました。



金田 成人
(松河原)

夢がかなう町

旧中山の松河原集落にきてはや20年が過ぎました。調理関係の仕事をしてはいますが、昨年より農業を始め、ブロッコリー、ネギなど少数多品目の野菜を作って出荷しています。しかし、傷やサイズな

どですべての野菜が出荷できるわけではありません。

そこで、地域自主組織やらいや逢坂に相談し、20年来の夢であった『子ども食堂』を昨年の8月から月2回開催し、皆さんに食べて

もらっています。今では卵や肉、魚類の食材提供協力者が増え、メニューを考える楽しさも倍増しています。たくさんの方の協力に感謝しながら、これからも笑顔や笑い声が増えるように続けていきたいです。

ボランティアスタッフ希望、いただき物、食べきれない食材などがありましたら、コミュニティスペースまじりにて受付けてます。



阪本 正晴
(御来屋)

大山町人移住

前職はサラリーマンで営業活動に従事していましたが、退職を機に自分がやりたい事を仕事にしたいと思い、漁師になるため、3月に大阪から移住してきました。

今まで経験したことのない沿岸部

での生活ということでも、どんな生活が待っているか想像もつかなかったですが、実際に大山町に住んでみると空気が澄んでいて食べ物美味しく、何と言っても水が合う。もっと早く行動し移住しとけば良かったなと少し後悔しています。また、一番ビックリしたことは年配者の方々がバイタリティーに溢れており、社会に貢献していることです。

4月から漁師の研修がスタートしますが、時間がある時に隅々まで探索し大山町の魅力を感じたいと思います。



白鳥 弘明
(中高西区)

大山町に引っ越してきました

中学生のときに大山町に引っ越して来て、子どもの頃は大山町は何もなく米子に戻りたいと思っていましたが、大人になり仕事をしてその後結婚して子どもができる、考え方が変わりました。子どもが歩くようになり保育園や児童館に行くようになると、近所のかたが話しかけてくれるようになり、子どもの頃はわからなかった気遣いや優しさがわかり嬉しくなりました。

このように大山町に住む人の温かさや大山の自然は子どもを育てるにはとても良い所が

も良く、今後は、子どもが大きくなってくるので、大山の自然豊かな場所や遊びに連れて行きたいと思っています。自分自身も、夏に螢を見たり、冬は大山に車で上がり、きれいな星空や米子の夜景を見に行くこともあり、とても満足しています。

大山町は、歳を重ねるほどに良い所がどんどん出てくる町で、来てよかった、今では思うようになりました。

サクラと大山

あとがき

1月以来、世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大している。そのニュースが毎日流れるなか、3月議会で108億8000万円の新年度予算を議決した。合併15年を迎える新年度予算。心配された地方交付税の減額幅は小さいと見込まれ、ふるさと納税も順調に応援していただいている。まちの魅力づくり、住みやすいまちの創生、教育・福祉の増進が町の課題である。

しかし、新型コロナウイルスの影響がきわめて大きく、名和マラソンフェスタは中止が決まり、人が集まる会合は中止が相次いでいる。新年度予算の執行には困難が予想される。

一刻も早い新型コロナウイルスの収束を願うばかりである。

野口 昌

【発行責任者】

議長 杉谷 洋一

【広報常任委員会】

委員長 大森 正治

副委員長 池田 幸恵

委員 西山 富三郎

委員 岡田 聡

委員 西尾 寿博

委員 野口 昌作

委員 大杖 正彦

委員 加藤 紀之

議会だよりの感想をお寄せください！